

# 社会資本整備審議会 道路分科会

## 第31回近畿地方小委員会

### 議事概要

1. 日時 令和3年7月7日（水）15:00～16:00
2. 場所 近畿地方整備局 第1別館2階 大会議室
3. 出席者

#### [委員]

飯塚	敦	神戸大学 都市安全研究センター 教授
小川	圭一	立命館大学 理工学部 環境都市工学科 教授
嘉名	光一	大阪市立大学大学院工学研究科 教授
木村	玲欧	兵庫県立大学 環境人間学部 教授
◎小林	潔司	京都大学 名誉教授／京都大学経営管理大学院 特任教授
多田	稔子	一般社団法人 田辺市熊野ツーリズムビューロー 代表理事

※敬称略、五十音順 ◎は委員長

#### 4. 議事

##### 新広域道路交通ビジョン（案）・計画（案）について

##### <委員からの主な意見>

- 新広域道路交通ビジョン（案）・計画（案）について、妥当である。
- 今後も社会情勢の変化に合わせて柔軟に対応すること。
- 40ft コンテナの話は十数年前から出ている。本計画は物流を前面に出して積極的に物流道路を整備していく計画となっている。
- 今後、ISO規格の最大となっている45ft コンテナの動向もしっかり注視すること。
- 空港・港湾はより重要度が増すと思われるので、空港・港湾へのアクセスをしっかりとっていく必要。
- 近畿は都市として歴史が長く、今後、一斉に工場をはじめとする都市機能の更新を含めた街づくりが進んでいく。道路も効果的に整備していくために街づくりと連携する必要がある。
- 防災拠点として、道の駅の防災機能は地方部にとって重要であるため、今後も強化・拡充していくべき。公助・共助として役立つ施設になればと思う。
- 物流拠点について、大型拠点になりうるものは、防災拠点としての活用もご検討されてはどうか。
- ICT交通マネジメントについて、リアルタイムでの物流の把握が重要。特に災害時等におけるルート選定をどうするかなど、リアルタイムで把握することでより円滑な物流を実現することができる。
- 整備の計画には維持管理の視点も大切。ICTを活用し維持管理の面においても生産性向上に取り組んでほしい。